

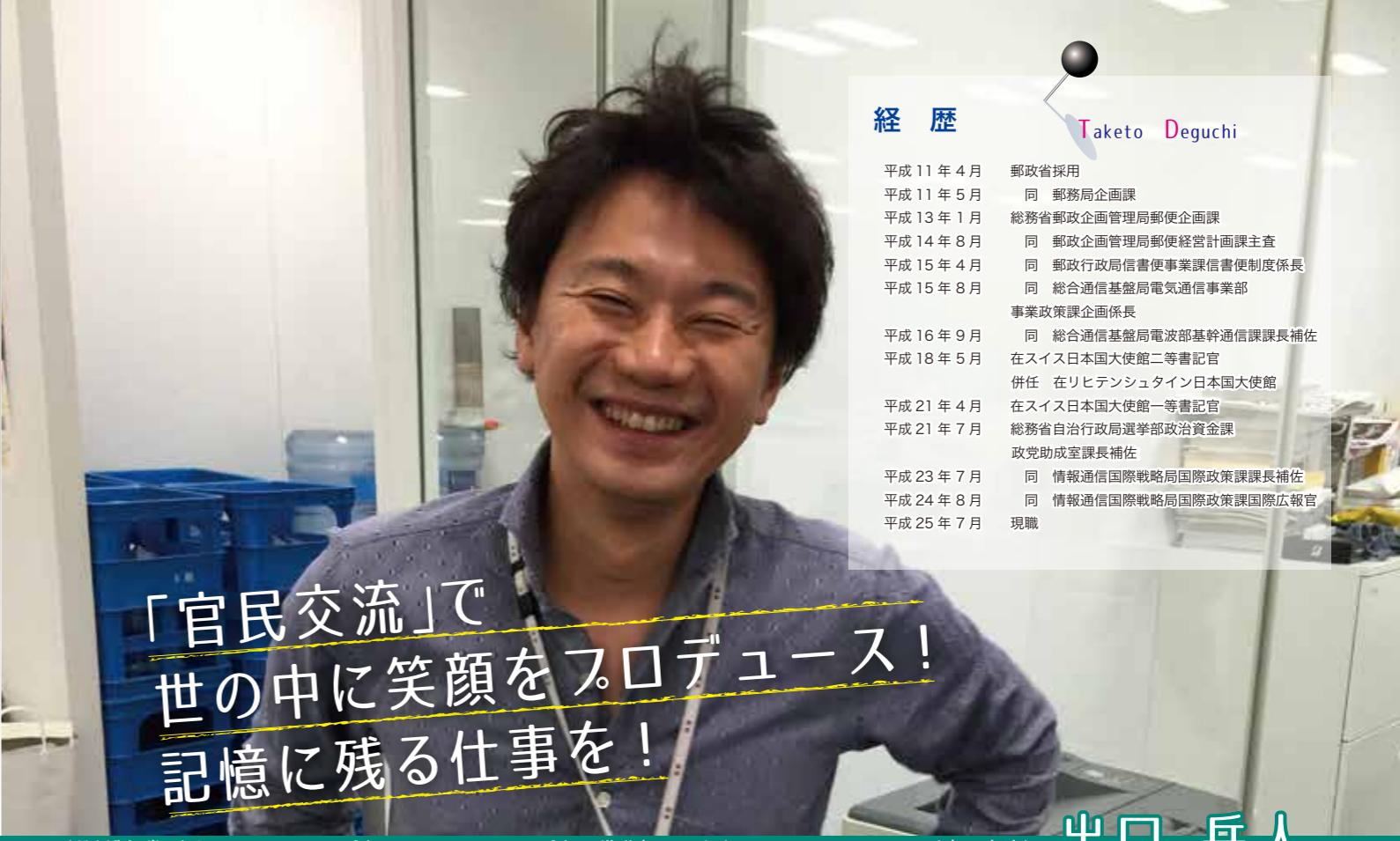
経歴

Hiroshi Ueda

昭和58年 4月	自治省採用
	同 行政局公務員部公務員第一課
昭和58年 7月	栃木県総務部地方課
昭和59年 4月	同 総務部財政課
昭和60年 4月	外務省中近東アフリカ局アフリカ第三課
昭和62年 8月	自治省行政局公務員部公務員第一課
平成 元年 3月	国際労働機関 (ILO, ジュネーブ) 派遣
平成 3年 4月	沖縄開発庁総務局企画課専門官
平成 4年 4月	京都府総務部地方課長
平成 6年 4月	同 総務部財政課長
平成 7年 7月	自治省財政局地方債課課長補佐
平成 8年 7月	同 大臣官房企画室課長補佐
平成10年 1月	同 大臣官房企画室理事官
平成10年 4月	札幌市財政局長
平成13年 7月	国土交通省都市・地域整備局地方整備課調整官
平成14年 1月	総務省自治財政局財政課財政企画官
平成14年 9月	公営企業金融公社経理部資金課長
平成16年 4月	千葉県総務部長
平成19年 4月	同 副知事
平成21年 7月	総務省自治行政局市町村課長
平成22年 4月	同 自治行政局住民制度課長
平成22年 7月	同 自治行政局公務員部公務員課長
平成25年 4月	現職

二度目の副知事として

大阪府 副知事 **植田 浩**



「官民交流」で世の中に笑顔をプロデュース！記憶に残る仕事を！

(株)博報堂 出版・コンテンツビジネス局コンテンツビジネス推進部 アカウンスーパーバイザー(官民交流) **出口 岳人**

経歴

Taketo Deguchi

平成11年 4月	郵政省採用
平成11年 5月	同 郵務局企画課
平成13年 1月	総務省郵政企画管理局郵便企画課
平成14年 8月	同 郵政企画管理局郵便経営計画課主査
平成15年 4月	同 郵政行政局信書便事業課信書便制度係長
平成15年 8月	同 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課企画係長
平成16年 9月	同 総合通信基盤局電波部基幹通信課課長補佐
平成18年 5月	在スイス日本国大使館二等書記官 併任 在リヒテンシュタイン日本国大使館
平成21年 4月	在スイス日本国大使館一等書記官
平成21年 7月	総務省自治行政局選挙部政治資金課政党助成室課長補佐
平成23年 7月	同 情報通信国際戦略局国際政策課課長補佐
平成24年 8月	同 情報通信国際戦略局国際政策課国際広報官
平成25年 7月	現職

副知事の仕事

人口880万人の大阪府は、名目GDPが約4,500億USドル(2012年)。これは、ノルウェーやイラン、アルゼンチンなどの国々にも匹敵する数字です。

この大きな地域において、4兆8千億円の年間予算と8万2千人の職員によって、府民福祉の向上や府内経済の発展を目指していくのが地方公共団体としての大阪府の役割です。

大阪府においても、副知事の職務は多岐にわたります。担当各部の所掌事務の統括をするとともに、大阪府の総合経済対策のとりまとめや人口減少社会対策推進会議の主宰、大阪都構想の立案に向けての国との調整など、知事の命に基づいて各部にまたがるまとまった事務を所掌しています。もちろん、知事の個々の最終判断に際し、直接意見を具申することや、極めて多忙な知事の代役として、各種行事・イベントへの出席、知事の権限に属する事務の代決処理なども頻繁に行っています。

ちなみに副知事は、選任に議会の同意が必要な特別職の地方公務員として、例えば地方公務員法上政治的行為の制限が緩和されていたり、条例上勤務時間の定めがないなど、他の一般職の職員とは違った身分取り扱いを受けています。

経歴の欄にも記したとおり、私は今回副知事が二度目。前は千葉県で、堂本暁子知事と森田健作知事にお任せし、今は大阪府で松井一郎知事にお任せしています。

一口に知事にお任せするといっても、そもそも都道府県の規模や地理的条件、歴史的背景、時の政治状況などが異なる中で、知事それぞれに着眼点や事案へのアプローチ、仕事の進め方なども様々です。その知事のスタイルを踏まえながらも自らの能力を発揮することが求められていると言えるでしょう。

もちろん大変なことも少なくありませんが、間違いなくやりがいのある、大きな仕事に従事させて頂いているというのが実感です。

総務省の魅力

総務省は、国・地方を通じた国家の根幹の仕組みづくりを所掌し、また国民の経済社会活動に密接に関わる諸制度を幅広く所掌している役所です。そして業務内容や職務上のポストはもちろん、勤務地、職場環境、得られる経験、出会える人々など、どれを取っても極めて多様性に富んでいます。

「総務省の魅力を一言で」と求められた時、いつも「スケールの大きさと多様性」と答えているのですが、その「多様性」の一番の要素が、中央だけではなく地方公共団体の第一線で、国にはできないであろうダイナミックな、また住民福祉に直結する仕事に携わる機会を数多く与えられる点だと実感しています。私自身、大学を出て就職する先を考える際に、当時の自治省(現総務省)を志望した最大の理由がこの点でした。

皆さんはご自身の就職に何を求めているらっしゃるでしょうか。人生の充実、社会への貢献、様々な体験、人との出会い……。

総務省がこれらの要素を最高のレベルで満たしてくれることは間違いありません。是非皆さん、総務省の門を叩いてみて下さい。



「報道展」のオープニング(大阪府出身の片岡愛之助さんと筆者)

「君は、何によって憶えられたいか」というドラッカー氏の言葉があります。自分にとって行政の仕事とは、将来が明るいと思え、多様性と活気がある社会となるために必要なことを追求していく仕事です。

総務省では、民主主義の基盤となる制度や経済活動を支えるインフラ政策に様々な形で携わってきました。総務省は、選挙制度、放送・通信行政等も所掌していますが、この度、官民交流制度を通じ、表現を仕事とする広告会社でコンテンツビジネスに携わることにより、世の中に笑顔をもたらす仕組みづくりに携わる、という自らの仕事の流儀を再認識しました。

博報堂では、映画、音楽、ゲーム等コンテンツを活用したビジネスを推進する部署にいます。コンテンツビジネスの推進には、国内外の権利調整、契約等の知識も必要となりますが、総務省で培った政策立案、法令事務、国際交渉等の多岐に亘る経験が役立っています。具体的には、国際経験を活かしくールジャパン推進業務を手伝いながら、キャラクターやアイドルを絡めた企画を実施しています。

例として、コップなどの縁に飾るフィギュアの公式ソング制作に携わるとともに、仏・パリのJapan Expoや台湾の博覧会への出展に関わるなど海外展開にも取り組んでいます。また、皆さんもご存じの有名アイドルグループなども参加する「SATOYAMA& SATOUMIへ行こう」という地域活性化CSRイベントも手伝っています。総務省も後援するイベントですが、効果的なプロモーションの場を探している地方にとって、地域の観光資源や素材を若者に知ってもらふフックとして、アイドルや音楽を絡めることは意義があると感じています。

社会に羽ばたく皆さんへのメッセージですが、是非、志を持って何事も簡単には諦めずに行動してもらえたらと思います。志と行動なくして、何かを成し遂げることは難しいと思います。今、とある名前の戦う女性アイドルグループの方とも仕事をしていますが、その名の通り「上へ上へ」と目指して日々邁進し、普通のアイドルではやらないことに挑戦し続けており、昨年8月にはアイドルグループとして前代未聞の富士山山頂ライブも行いました。今年5月には、「ホノルル駅伝&音楽フェス2015」で駅伝にも挑戦します。イベントの実施には安全面や周囲への配慮等、総務省での経験も活かされていますが、若い方々による世の中に笑顔をプロデュースしようとする取組を手伝うことは、自らの仕事観とも合致するところだと思います。

社会人として、皆さんは何によって憶えられたいでしょうか。未来に希望を紡ぎ、世の中に笑顔をプロデュースすべく、様々な経験ができる総務省というフィールドで、社会の基盤となり、記憶に残る仕事を創っていくことに携わってみませんか。



富士山山頂ライブの様相